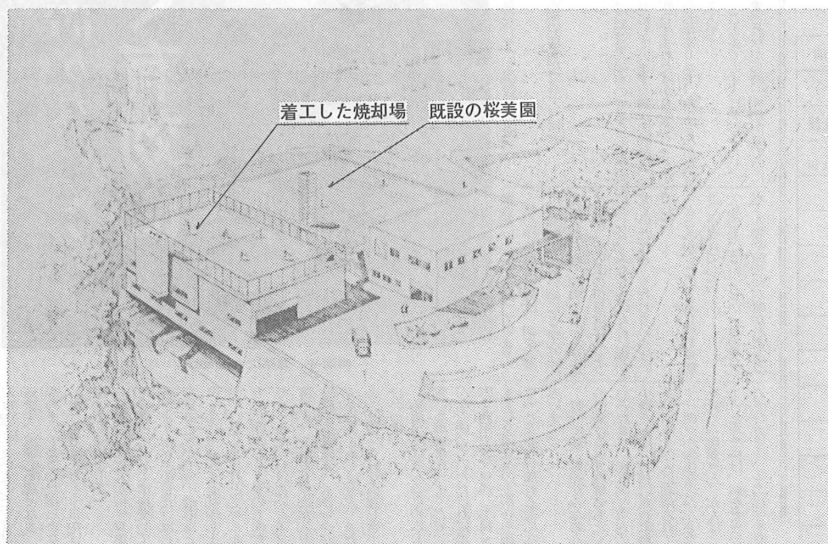


1. 郷土を愛し、自然をいかすきれいな二宮町をつくりましょう。
1. ふれあいを深め、こたはをかけあうさわやかな二宮町をつくりましょう。
1. きまりを守り、良習はくむ住みよい二宮町をつくりましょう。
1. 幸せを願い、健やかな、明るい二宮町をつくりましょう。
1. 教養を高め、文化のかおる豊かな二宮町をつくりましょう。

5月1日
起 工 式

緑と調和した新焼却場

＝近県にない無公害設備を導入して着工＝



着工した焼却場 既設の桜美園

中里にある桜美國（しんげんり）と隣接した所に、新しいじん井掘却場を建設することになり、五月一日に起工式を行いました。

この日を迎えるまで、間々みなさんの絶大なご理解とご協力を得ることができ、計画が順調に進みだことを深く感謝します。

施設の概要

施設は二階建てで、建築面積は五五〇平方メートルです。しかし、一階部分ほとんどが地下に入る地下

施設概要

方式で一層が鉄筋コンクリート造一階は鉄骨造りとなります。また、屋上にはデニスコートをニスコートとあわせ、みなさんに有効に利用していたきたかと思っています。このコート二面往來のため、横断橋も作る予定です。横断橋の本体である横断炉は人口が四方にもって処理できるよう二丁炉を三基備え、一日当たり三六〇を処理できる能力があります。

特徴は無公害

特徴は無公害

計画の段階でみなさんから寄せられた要望を十分満たすこの施設の特徴は、

- ① 無公害である
- ② 周囲の自然と調和する
- ③ 高い煙突がない
- ④ 騒音が少ない
- ⑤ コンパクトである

などであり、前述のデモスコートを作るなどから、みなさんに親しまえる施設になると考えてい

永い間、懸案であった新しいじんば煙草場の施設については、何となく本紙でその必要性をお知らせしてきました。また、建地である中里のみなさんの話しにも重ねてきました。そして去年五月一日、起工式を行うことができました。非常は藤原忠尚が五億円八〇万円で行いますが、公害を出さず、美観も良く、さらに故障が少く、コンパクトな施設であり、事に優れた施設です。

完成は来年三月ですが、工事期間中、安全上は万全を期してゆきます。また、完成までの間、みなさんの理解と協力をお願いいたします。

付帶施設

ゴミの中には燃えるものと燃えないものがあり、大きさもさまざまです。そこでつぎのような三つの付帯施設を設置します。

① ピン・ガラス類の処理をする

ひとしほり運動展開

ゴミは水をきって出そう

昭和五十二年十一月発行の本紙にばき岡、現焼却場の実態をお知らせし、前号まで三回及ぶ新じん井焼却場建設関係の記事を掲載し、その必要性をみなへんの協を訴へ続けてきましたが、昨の十月、関係者の協が成立し、建設の第一歩を擧げました。

省エネ・省
経費のため
一日、一が出す量の量は四
八五坪で人口が約二万七、〇
〇ですから全体では、日約三

を二層強力推進しなと思ま
すので、全市民のご協力をお願
いします。

省工ネ・省
経費のため

[illegible]

たとえば二〇%の水分を減らすと

五十六坪が減ることになり、これだけの水分を減らした場合は、車油は一八八・四リットルが約で四七・二・五リットルまで減ることになります。この車油を節約すると、二一七・四リットルとして計算すると二万三、五七四・四円一月では三万九、三八四・一年になると〇七万、三八四円の経費が減ることになります。

人の協力がどうしても必要です。

また、分別収集も年々充実していますが、まだまだ完全ではあません。分別のルールを守っていただき、省エネ、省経費に町となさんと対応して行きたいと考えています。

和やかに起工式

また、町長は今日に至るまでのみなさんご協力に対して謝辞のべ、竣工までの間で協力をいただきようと思いました。

安全には万全を

工事中は安全対策に万全を期してゆきますが、みなさんのご理解とご協力を再度お願いし、一日も早く、無事完成させるよう努力をしてゆきます。



無事完成を祈願する柳川町長

こんにちは
鈴木です



入学式からすでに一月ほどたちました。新鮮な空気を一杯にたえた、塗装音も、コンクリートの響きもどのやかなりて居るが、初代校長として新校舎に勤めるのである光栄・責任の重さを、身をひきしめて三つ思ふ次第です。

非力ではありますが、これの善悪にたいえられる経営志しを力にしたいかと思つて今日、知・徳・体の調和とそれと導かな人間的教育と呼ばれています。中学校教員の最大の課題は「二人一人

校の二、三中学校から二十名、他から十名を、新規採用、町職員三名、併せて三十九名で争奪ける早速、入学式、始業式、当面の事の準備が出来た。体育館も建てたので、入学式をこの体育館でやるかと問題となる。折角、町長さんが一人で様子を見て、今までは校舎が故に、とすれば校舎がないであらう、いわれる通りである。三、四校の二、三班が要するに決まつた。

三日、三年生生準備のため、全員登校し、職員も盛ん意欲をもつて仕事をこんど進められ、私共車中不始の提供の名を挙げた綱の頭を校舎の壁に刺したりするのにとりかいたもの。

期待に餓たまはるまじくして、まもなく中で、やがて驚き味・新しい生活を生産する。続いて始業式を挙行。

七日から早速、交通安連連動がはじまる。大體警察署・町問係者・農會議・区長・民生児童委員・交通安全協会委員などに指導員、P.T.A.その他の各団体の方々に、安全な登下校の指導を受ける。地域の方々の温かい支えの強さをしみと感ずる。

列挙にいたまのない私自身も、その実感をともに、校長として二西中学校を造るのに、青雪君・望海が現場監督の意見・要望を町問係の係者十分受け、理屈のない代慮・設備をもった立派な学校建て下さうまいと、なげにけの創意と大い感動を、受けたい。建物の中で、肩の寒さを脱ぎよう程ほど、暖かい手。

本校発展のために、皆様への深いご理解・温かい援助の心をお願いいたします。

平塚市浅間町丁三二西中学校長 鈴木 至

